



東北大学

平成21年 4月 1日

報道機関 各位

東北大学

宮崎照宣東北大学教授が米国物理学会「バックレイ固体物理学賞」受賞

固体物理学の理論・実験で優れた業績をあげた研究者に授与される米国物理学会「バックレイ固体物理学賞」の2009年の受賞者に、宮崎照宣（みやざき てるのぶ）東北大学原子分子材料科学高等研究機構（WPI）教授が選ばれました。受賞理由は「トンネル磁気抵抗効果の先駆的な研究及び、そのスピントロニクス分野への応用」で、マサチューセッツ工科大学のR.メサーベイ、J. ムーデラ、P. テドロウの3教授らと共同受賞です。

同賞は元ベル研究所所長オリバーE. バックレイを記念して1952年に設立され、毎年授賞されています。これまでに半導体のショックレイ（1953）、バーディーン（1954）やトンネル効果のジェバー（1973）ら多数のノーベル賞受賞者が本賞を得ています。

授賞式は、3月16日米国ペンシルバニア州ピッツバーグ市で行われ、大勢の研究者と家族の出席のもと、チェリー マレイ米国物理学会会長が各賞受賞者全25人に一人一人賞を手渡しました。

この件に関するお問い合わせ先：

国立大学法人東北大学総務部広報課

Tel 022-217-4815,4816 Fax 022-217-4818

